

ぶっきょうつうしん  
仏教通信

『 勇気(ゆうき)について 』

がつごう  
9月号

みなさんは『僕のヒーローアカデミア(略してヒロアカ)』(原作：堀越耕平)という漫画(アニメ)をご存知でしょうか?その『ヒロアカ』の原作が8月5日に最終回(週刊少年ジャンプ)を迎えたというニュースが朝の情報番組で流れていました。その物語を簡単に説明すると「世界総人口の約8割が「個性(超常能力)」を持っている超人社会で、「個性」を持っていなかった緑谷少年が友情や成長を通じてヒーローを目指す物語」です。その『ヒロアカ』に登場する正義の象徴であるオールマイトというヒーローは、絶大な力を有す自分の個性「ワン・フォー・オール(One for all)」を、無個性(能力を持たない存在)の緑谷少年に受け継いでもらいます。当初、緑谷少年の肉体は引き継いだ力の強大さについていくことができず、力を使うたびに大怪我を負ってしまいます。人々を守るヒーローになるため、少年は毎日、自分の限界を超えるような努力や挑戦を行い、ヒーロー学校の仲間や周囲の人達に認められるようになっていくのです。

緑谷少年が徐々にヒーローとして活躍できるようになったのは、オールマイトから個性を受け継いだだけではなく、辛い思いをしている人に寄り添いたいという思いやりの心が原動力となり、考えて努力することが継続できる力が身につけていったのです。「思いやり」や「考え努力する」という行いは、仏教の「慈悲」と「智慧」にあたるのではないのでしょうか。国府台女子学院で学んでいる皆さんは、仏教の「慈悲」や「智慧」の教えに触れる機会が多く、困っている人のために「勇気」が発揮されることにつながっていくのだと思います。

さて、今夏開催されたパリ・オリンピックでは、日本のメダル獲得数は世界3位(金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個の計45個)の活躍で、メディア上に「勇気と感動をあたえてくれて、ありがとう」というフレーズが数多く飛び交いました。この日本代表選手の活躍は、私たちに「勇気」「挑戦」「努力」の素晴らしさを知るきっかけになったとしても、すぐにそれが私たち身につくものではありません。日本代表選手たちの素晴らしい活躍は、「努力」をせずして得られたものではなく、日頃から考えることを怠らず、「挑戦」し続けたことによって身についた「勇気」がもたらした結果ではないでしょうか。継続することが積み重なって、少しずつであってもしっかりと身につくものが「勇気」だと思います。



「生死出づべき道」を歩む親鸞聖人

国府台女子学院の児童・生徒の皆さん一人一人が、明るい未来をむかえるためにも、「勇気」を育む努力をしてほしいと念じています。

がっしょう  
合掌

しょうがくぶらいはいいいんかい  
小学部礼拝委員会